

## ○国立大学法人鹿児島大学SDG s シンボルマーク及びキャッチフレーズ使用取扱要項

令和6年3月5日

学長裁定

(趣旨)

第1 この要項は、国立大学法人鹿児島大学(以下「本学」という。)のSDG s シンボルマーク(以下「シンボルマーク」という。)及びSDG s キャッチフレーズ(以下「キャッチフレーズ」という。)の取扱いについて、必要な事項を定める。

(シンボルマーク及びキャッチフレーズ)

第2 シンボルマークは、別図1のとおりとする。

2 キャッチフレーズは、「カダイから ミライをつくる」とし、使用に際しては別図2のとおりとする。

3 シンボルマーク及びキャッチフレーズの併記使用に際しての例を、別図3に表す。

4 本学の役員、教職員及び学生(附属学校の園児、児童、生徒を含む。以下「教職員・学生等」という。)が行うSDG s に関する各種活動の配布物及び出版物等には、シンボルマーク及びキャッチフレーズを使用するように努めるものとする。

(使用者の資格)

第3 シンボルマーク及びキャッチフレーズを使用することができる者は、次のとおりとする。

- (1) 教職員・学生等
- (2) 本学の承認を得た学生団体
- (3) その他学長が使用を許可した個人及び団体等

(使用範囲)

第4 シンボルマーク及びキャッチフレーズの使用の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 本学が発行する印刷物
- (2) 本学が制作するホームページ
- (3) 本学の役員及び教職員が作成する名刺又は各種業務資料
- (4) 本学の学生が作成する印刷物等
- (5) 本学の学生団体が課外活動に使用するホームページ、印刷物等
- (6) その他学長が適当と認めるもの

(使用許可)

第5 シンボルマーク及びキャッチフレーズを使用する場合は、あらかじめ所定の様式を研究推進部社会連携課産学・地域連携係に提出し、学長の許可を得なければならない。ただし、本学の教職員・学生等が、第4第1項第1号から第5号までに該当するものに使用する場合は、学長の許可を要しない。

2 学長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、シンボルマーク及びキャッチフレーズの使用を許可しないものとする。

- (1) 本学、シンボルマーク及びキャッチフレーズの公共性、中立性又はその品位を傷つけ、又は

傷つけるおそれがあると認めるとき。

- (2) 第6に規定する使用上の遵守事項が守られないおそれがあると認めるとき。
- (3) 法令又は公序良俗に反し、又は反するおそれがあると認めるとき。
- (4) 特定の個人、政党又は宗教団体等を支持し、又は公認しているような誤解を与え、又は与えるおそれのあるとき。
- (5) その他学長が使用について不適切であると認めるとき。

(使用上の遵守事項)

第6 シンボルマーク及びキャッチフレーズの使用を許可された者(以下「使用者」という。)は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 許可された目的のみに使用すること。
- (2) 使用者は、シンボルマーク及びキャッチフレーズの使用に関する権利を譲渡し、又は転貸しないこと。
- (3) シンボルマーク及びキャッチフレーズは改変して使用してはならない。ただし、同一性を失わないと認められる範囲内においては、縦横等倍で拡大又は縮小して使用することができる。
- (4) 許可後、速やかに印刷物等の完成品を研究推進部社会連携課産学・地域連携係へ提出すること。ただし、完成品の提出が困難と認められるものについては、その写真をもって代えることができる。なお、提出された完成品及び写真は返却しない。
- (5) 商標登録出願を行わないこと。
- (6) その他、使用の許可に当たって学長の指示する条件に従うこと。

(使用許可取消し等)

第7 学長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、シンボルマーク及びキャッチフレーズの使用許可を取消し、又は使用を停止させることができる。

- (1) 鹿児島大学SDGsシンボルマーク及びキャッチフレーズ使用願の内容に虚偽があった場合
- (2) この要項に定める事項に違反した場合
- (3) その他シンボルマーク及びキャッチフレーズの使用等が不適切と認められた場合

(使用料)

第8 シンボルマーク及びキャッチフレーズの使用料は、無料とする。

(その他)

第9 この要項に定めるもののほか、シンボルマーク及びキャッチフレーズの取扱いについて必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、令和6年3月5日から実施する。

別図1

<シンボルマーク>

・このシンボルマークは、鹿児島大学の「K」をデザインし、南九州から世界への飛翔を表現したものです。



## 別図2

### <キャッチフレーズ>

- ・フォントの変更は行わないこと。
- ・このキャッチフレーズは、鹿児島大学「カダイ」の構成員がSDGsに掲げられている様々な「カダイ」に挑戦し、構成員達の手で未来を切り拓いてほしいとの思いを込めたものです。

# カダイから ミライをつくる

別図 3

<併記例>

カダイから ミライをつくる

